

2010年度 武山研究会入ゼミレポート課題：

時間の流れを忘れてしまうほどに楽しみながら、真剣に新しいことや難関にチャレンジしていくときのワクワク感に満ちあふれた状態を、英語では **playfulness** とか **playful mind** という言葉で表します。遊びや趣味の世界にハマり込んでいる状況はもちろんのこと、スポーツの競技や音楽の演奏に夢中になり、また仕事や研究に没頭する場合なども、**playful** な心の状態が起こっているものと考えられます。これに関連して、以下の2つの設問についてレポートにまとめてください。提出形態と分量はA4用紙で2~3枚程度としますが、その中に図表を含めて構いません。

1) あなた自身が相当に **playful** な状態に取り組める（取り組んだ）具体的な活動（ジャンルは問いません）を例に挙げ、その体験に基づいて、一般に人が **playful** に物事に取り組むためにどのような要素や条件が重要となるか論じてください。

2) 一般的に **playful** に取り組むことが困難と思われている特定の活動を例にあげ、それをあえて **playful** に行えるようにする（可能性を高める）ための具体的なアイデアを自由に論じてください。その際、できるだけその活動を行う環境や利用する道具やメディアにも注目してください。

- 2月5日（金） A日程仮登録
- 3月19日（金） A日程本登録
- 3月30日（火） A日程選考
- 4月1日（木） B日程仮登録、本登録
- 4月5日（月） B日程選考